

農村の活性化と都市農業の理解
促進に向けた
新たな協同をめざして



第5号

2014年8月発行

JA都市農村交流全国協議会・会報誌

クロス・カントリー



7月18日 情報・意見交換集会の様子



JA都市農村交流全国協議会

JA都市農村交流全国協議会 会報誌について

会報誌「**クロス・カントリー**」の第5号は、平成26年度2回目の発行です。

今回は、協議会の活動報告として研修会、情報・意見交換集会の開催報告を中心に掲載しております。

なお、この会報誌は会員活動の一環として、協議会、会員活動の報告をはじめ各種情報提供のため、年4回(5月、8月、11月、2月)発行いたします。

JA都市農村交流全国協議会事務局

~~会報誌の主な構成~~

《協議会活動》

P 3 - 8

「基礎研修会Ⅱ」「情報・意見交換集会」の開催報告です。

《会員活動》

P 8

JA長野県グループのウェブサイト「いいJAん！信州」を刷新しました。

《調査・研究》

P 9 - 10

「婚活」に対する協議会の活動報告です。

JA間交流・提携の調査をしております。

《研修会・セミナーのご案内》

P 10 - 11

基礎研修会Ⅲの開催のご案内。

《支援隊レポート》

P 12

平成26年度JAグループ支援隊の情報をご紹介します。

《お知らせ》

P 12 - 13

グリーン・ツーリズム 地域資源を活用したプラン造成研修会の開催について。

協議会の活動支援WEBサイト「JOINTly GREEN」(ジョイントリーグリーン)をご紹介します。

《協議会活動》

基礎研修会Ⅱ・情報意見交換集会 開催報告

基礎研修会Ⅱの開催報告

都市と農村における交流活動ではJ A・農業への理解者となる都市住民をはじめとした活動参加者への情報発信は重要ですが、J Aグループの対外広報は事後レポートが多く、事前の開催告知は限定的な手法で行っていることが少なくありません。当基礎研修会Ⅱではインターネットを活用した新たな仕組みを展開しているJ Aの事例発表や異業種の取り組みを学ぶ実践的な内容としました。

また、講義内容の一層の理解力と参加者同士のコミュニケーション向上を図るため、全プログラム後にグループワークを取り入れ、参加者間の情報交換や交流の場として好評でした。

□開催期日：平成26年6月6日（金）

□開催場所：Nツアービル会議室

□参加者数：計32名

（J A19名、中央会6名、全国機関7名）

プログラム① J A実践事例発表

＜テーマ＞

J A長野県における広報活動について
～Webによる情報発信を中心に～

＜発表者＞

J A長野中央会 総務企画部
企画広報課 課長 五味 正輝 氏



J A長野県グループは、2018 J A長野県ビジョンの4つの柱の一つの「共感をつくる」の中で「農政・広報事業」を重要な位置付けとし、J A・地域の一体的な広報活動の展開・戦略について取り組まれています。その活動をご発表いただきました。

プログラム② 記念講演

＜テーマ＞

千葉ロッテマリーンズ

地域密着の取り組み

＜講師＞

千葉ロッテマリーンズ 事業本部
振興部 部長代理 長雄 賢治 氏



1991年に千葉へ本拠地を移転し、地元ファンを獲得するために様々な地域振興活動に取り組んでいるプロ球団の「地域密着」「地域貢献」の視点から

「いい組織をつくる」ための考える機会や「どのように地域を巻き込むのか」など、具体的事例を交えご紹介いただきました。

プログラム③ WEB活用講座

＜テーマ＞

情報発信機能を有した

WEBシステムの活用

＜講師＞

株式会社百戦錬磨 事業開発部
マネージャー 大野 彰則 氏



現在のインターネット業界の動向と協議会の活動支援WEBサイト『JOINTly GREENN』の活用意義についてご説明いただきました。

グループワーク

研修参加者を1グループ4名で8グループを編成（午前と午後で席替え）

- ① 自己紹介
- ② 役割分担およびテーマの決定
- ③ グループディスカッション
- ④ 発表

参加者からは「席替えもあり多くの人とディスカッションができ、様々な意見を聞くことができた。」「他の人の意見、取組み等が分かりグループワークは必要だと思った。」など好評でした。



＜参加者のアンケートより抜粋＞

JA実践事例発表

○中央会主導で全JAをまきこみ、本気で広報活動に取り組む姿勢に感動しました。

○広報体制や明確なビジョンを作って行動しているのが素晴らしいです

記念講演

○どこから、誰から、何からを常に意識して企画・運営を心がけたい。

○JAも地域密着なので参考になりました。ターゲットを細分化して行動するマーケティングの重要性を実感しました。

○ターゲットの明確化の重要性を改めて認識できた。

WEB活用講座

○WEB利用者、地域、JAのニーズを効率よくつなげるための手法の一つを学べた。

○伝えたいことと知りたいことをWEBで結び付け、得た情報を活用する。まだまだFAXや電話の情報収集が多いが今後活用したい。

○JOINTly GREENNが大変参考になりました。参加を検討します。

情報・意見交換集会の開催報告

2012年の国際協同組合年にて確認された地域における協同組合の連携をテーマとしたパネルディスカッション、ならびに昨年度好評であった日本一のテーマパークを運営するオリエンタルランド社「東京ディズニーリゾートの基本理念」をテーマとした記念講演を基本プログラムにて実施しました。

J A都市農村交流における各々の役割を越えた会員間の情報交換ならびに相互交流が2日間に渡り行われました。

□開催期日：平成26年7月17日(木)

【第1部】交流会

7月18日(金)

【第2部】セミナー

□開催場所：大手町・J Aビル会議室

□参加者数：計56名

(J A12名、中央会11名、
全国機関他33名)

主催者挨拶

J A都市農村交流全国協議会
事務局長 西野 司



冒頭、西野事務局長からは『J Aの交流事業は、第26回J A全国大会で初めて提起され、地域の活性化には、

地域内の様々な機関や団体との連携や場合によっては他地域から力を借りることも必要です。幅広い交流の展開が呼び掛けられており、日頃からの地域間の交流が東日本大震災において迅速に結びついた事例もあり、今「交流事業」が注目されています。

協議会においてJ Aモデルプロジェクトを進め、交流事業の定着に向けて着実に歩み続けています。本集会では「協同組合の連携による『地域づくり』」テーマと掲げており、集会を通じて各取組のめざすところや、課題の一端を窺うことで、皆さんが現場で取り組む上でのアイデアにつなげてほしい』と、農協改革を取り巻く情勢を確認しつつ参加者に発信しました。

協議会活動報告

J A都市農村交流全国協議会
事務局 石井 唯之



本協議会の平成26年度の活動報告を行いました。

基礎研修会Ⅱの開催報告および基礎研修会Ⅲの開催案内、新たな取組みとしての婚活支援、25年度の調査・研究の取組み結果や今後の取り組みなどを報告しました。

プログラム② 記念講演

＜テーマ＞

東京ディズニーリゾート

サービスの基本理念

＜講師＞

株式会社オリエンタルランド

マーケティング部

団体販売グループ

マネージャー 松本 浩一 氏



「パークの全てにテーマが存在し、そのテーマに合わせて空間が設計され、運営されていること」など遊園地とは違うテーマパークの概念から五感を全て空間設計し「全てのゲストにハピネスを提供する」ことをゴールとするなど、ウォルトディズニーの基本理念を紹介しました。

プログラム②についての

グループ討議



記念講演を受けて、参加によるグループ討議を実施。

テーマ「〇〇がテーマパークだったら」について、自分たちのJ A、支店、直売所等がテーマパークと捉えた場合、どう取り組むかなどを自分ごと化しながら、新たな気付きや会員同士の情報共有を図りました。

＜参加者のアンケートより抜粋＞

○経営のことを考えるとついつい利益を中心に考えがちですが「ゲストに幸せを提供したいから」という根本的な考えは、つい忘れがちになっていると感じました。仕事に対する姿勢を改めたいと思います。

○今後の自身の仕事に活かしていくヒントが多かった。

○普段聞くことができない話なので興味深かった。

プログラム③

パネルディスカッション

＜テーマ＞

協同組合連携による地域づくり

＜パネリスト＞

J Aおうみ富士 食育園芸部

部長 川端 均 氏



「おうみんちアグリタウン構想～つくる・食べる・つなげる活動～」をご

紹介いただきながら、生協をはじめとした多くの組織との連携による地域づくりの課題や展望についてご発言をいただきました。

<パネリスト>

**株式会社ジーピーエス 事業本部
本部長 工藤 友明 氏
(パルシステムグループ会社)**



パルシステムの交流と事業についてご紹介いただきながら、JAグループとの商取引の現状や、連携の課題や可能性についてご発言をいただきました。

<パネリスト>

**一般社団法人全国農協観光協会
地域振興推進部
課長 出口 高靖 氏
(子ども農山漁村交流
プロジェクト事務局長)**



今年度新たな動きが期待される「子ども農山漁村交流プロジェクト」の現

状と今後の取り組みについてご発言いただきました。



協同組合による連携の実践および子どもの農山漁村における交流に取り組まれているパネリストの皆さまより、活動の目的や取り組みの成果などを伺いながら、会場の皆さまと課題の共有や課題解決のヒントを探りました。



<コーディネーター>

**JA全中 ぐらしの活動推進部
部長 西野 司**

現在取り組んでいる生協とJAの連携による生産者・消費者の産地交流は次世代への食農教育をはじめ、農村地域、農業への理解を深め、ファンづくりにつながり、地域活性化の効果を生むことになる。今後、交流事業のより一層の発展が必要であるとまとめました。

＜参加者のアンケートより抜粋＞

○先進的な話は参考になりました。地元を持ち帰り、少しでも実現できるようになりたいです。

○JAおうみ富士の川端部長の豊かな発想と迅速な行動力には大いに刺激を受けます。

○組織連携の必要性を感じた。更に双方が踏み込んだ展開が必要。

プログラム① 交流会 in 農業・農村ギャラリー・ミノール



地域を越えた様々な情報の交流が行われました。

※当情報・意見交換集会については連日開催されました「くらしの活動推進セミナー」と合わせて日本農民新聞8/25付に特集記事として掲載されています。会員には同紙を送付しますのでご覧ください。

《会員活動》

JA長野中央会

JA長野県 いいJAん!信州

ファンづくり着々

基礎研修会Ⅱにおいて実践事例発表をいただいたJA長野中央会が広報活動でJA長野県グループのファンづくりを着々と進めています。

JA長野中央会は、JAに関わりが深い60代以下の世代にインターネットを使って情報を届け、JAグループへの理解促進とファンづくりにつなげている。『情報拠点』となるウェブサイト「いいJAん!信州」を7月に刷新し、農業や食の情報発信を強化。メールを毎週3万5000通送り、直売所情報やTTP問題などを伝え、食と農業、JAの理解者を増やす考えだ。

「いいJAん!信州」刷新

「いいJAん!信州」は2006年、食と農業、JA長野県グループの情報を集約するウェブサイトとして立ち上げた。県内JAの話題から農産物直売所や農産物の紹介、農災復興、環太平洋連携協定(TPP)関連の情報を掲載。JAによる「農とくらし」の取り組みを発信し、県内JAが運営するホームページへの誘導にもつながっている。

長野中央会 農・食の情報発信

「長野県のおいしい食べ方」は、ブログ(日記風ホームページ)とメールマガジン(定期的にメールで情報配信)を組み合わせたもの。県内の食と農の情報を月4回、毎週水曜日に発信している。発信数は3万5000通。

同中央会企画広報課は「ウェブを活用してJAの理解者を増やし、ファンづくりにつなげた」としている。

「いいJAん!信州」アドレスは <http://www.w.iijan.or.jp> (長崎)

(8/8 日本農業新聞 5面)



いいJAん!信州ホームページ <http://www.iijan.or.jp/>

《調査・研究》



テーマ：婚活

群馬県で「婚活」の取組み始動！

このたび、群馬県農協青年協議会とJA群馬中央会および農協観光群馬支店が連携し、9・10月に婚活イベントを実施することになりました。

イベントの実施にあたり、本協議会ではイベントプログラムの企画立案および当日の運営サポート、男性参加者を対象とした事前セミナーを開催します。

また、女性参加者の募集にあたっては、農協観光本社と連携し、結婚情報サービスウェブ社や福利厚生代行業ベネフィット・ワン社が保有する女性会員へ告知も行っています。

当婚活イベントは9月21日・10月21日の2回の実施です。実施後のレポートも次回本紙にてご報告させていただきます。

素敵な出会い in GUNMA
農業男子と群馬の豊かな自然、食と農を体感しませんか！
第1弾 片品高原でバーベキューパーティー
第2弾 水上温泉で群馬のこだわり食材を使ったつき焼きパーティー

農業男子婚活パーティー 先行予約

開催日
第1弾：平成26年9月21日(日)
第2弾：平成26年10月19日(日)

旅行代金<おひとり様1回あたり、税込>
第1弾：3,500円(JR高崎駅発着)/5,800円(JR上野駅発着)
第2弾：4,000円(JR高崎駅発着)/6,300円(JR上野駅発着)

※第1弾・第2弾共に参加いただける場合は、旅行代金を各1,000円割引
(お目的の旅行代金のお支払いの都に割引させていただきます)

※現地集合・解散をご希望の方につきましては、ご相談ください。

参加人数：20名
参加条件：20～45歳の独身女性
※女性参加者は同年代の群馬県在住の独身者手配業者
※農業員・農従員は、優先します。

農協観光ホームページに専用ページを開設

<http://www.ntour.jp/tour/special/konkatsu/>

「婚活」取材活動中

本協議会会員を中心とした取材活動を行っています。

2JAが合同で開催した婚活活動や県中央会が開催するJA向け婚活セミナー、行政と連携し取組んでいる婚活ツアーなど、ノウハウや課題共有のため、会員へのフィードバックを考えています。

ついでに、結婚相談員や婚活イベントの事務局として取組まれているJA・中央会職員を対象とした婚活セミナー(仮称)の年度内開催を検討しています。

都市と農村の交流としては、従来の食農教育による子どもや親を中心とした活動に加え、独身男女の婚活による交流も非常に重要な活動であると思います。婚活は人口減少問題にも直結し、地域の担い手支援としても、JAグループにおける取組みが一層活発化することは、元気な地域づくりに大いに意義あるものと考えます。引き続き、調査・研究活動を行って参りますので、情報提供などご支援・ご協力よろしくお願い致します。

婚活の活動支援

前述の群馬県の活動支援同様に「ノウハウの支援」および「女性集客の支援」を、協議会会員へ行っています。

資料提供から電話・e-mailでの相談など、お気軽に協議会事務局宛てにお問い合わせ・ご相談ください。

J A間交流・提携の情報提供のお願い

協議会ではJ A間交流・提携の情報を収集しておりますのでご提供のご協力をお願いします。

交流・提携の例

- 非常時の防災協定
- 役職員の人的交流（スキルアップ）
- 農産物直売所の継続的な交流
- J Aファンづくり・次世代対策
- 組合員・地域活性化

交流・提携に至った経過やその内容、目的、活動計画の内容が分かる資料をお願いいたします。

（F A Xまたはメールにて）

<送付先>

J A全中 くらしの活動推進課／石岡

F A X 03-3217-5073

E-mail : kurashi.s@zenchu-ja.or.jp

《研修会・セミナーのご案内》

基礎研修会Ⅲ



基礎研修会Ⅲ（外部連携）

平成26年度都市農村交流基礎研修会Ⅲを新潟で11月に開催いたします。

基礎研修会Ⅲの基本テーマは、「外部（地域）団体との連携」であり、今年度は①30年以上にもわたり続けているJ Aと生協の交流活動②農業特区新潟市の取組みに関する研修プログラムとなっております。当協議会が今後J Aに強く求められる地域連携による地域活性化・J Aファンづくりにつながり、J A参加者間で情報交換を行い、

取組みの悩みや課題を共有し、都市と農村の交流活動が一層活発に展開することを目指して開催します。

○研修会期間

平成26年11月11日（火）
～12日（水）

○集合について

平成26年11月11日（火）
13:00

J R新潟駅東改札口 忠犬タマ公前

○宿泊先

新潟東急イン

*新潟駅万代口より徒歩約1分

*シングル部屋対応

○研修場所

・J Aささかみ（新潟県阿賀野市）

・新潟市アグリパーク（新潟市南区）

○プログラム

テーマ「協同組合連携と地域の

新たな取組み」（仮）

プログラム①

協同組合連携に関する実践発表および現地視察

・J Aささかみ交流事業担当者の取組みの説明

・パルシステムとの交流施設見学

プログラム②

新たな取組みに関する実践発表および現地視察

・新潟市農業特区の取組みの説明（新潟市担当者）

・地域一体型農業での6次化の取組み説明（有限会社フジタファーム）

・日本初の公立教育ファーム「アグリパーク」の施設見学

J A ささかみ産地交流

■ 田植えツアー (5月)

30年以上も続くバレンシステム(関東圏の生活協同組合連合会)との交流では、生産者と消費者が農業体験を通して産直の普及活動を毎年行っています。



■ 生き物交流ツアー (6月)

5月に田植えをした「ゆうき米」(無農薬・無化学肥料栽培)の圃場では、毎年6月に雑草の草取りと田んぼの生き物調査が行われます。



■ 稲刈りツアー (9月)

収穫期を迎えた「ゆうき米」の圃場にバレンシステムの組合員を招き、稲刈り体験と出来たての新米で今年の収穫を堪能しました。

有限会社フジタファーム



ジェラート販売店「レガール」

新潟市アグリパーク

アグリパークは、農業に触れ、親しみ、農業を学ぶ場を提供する、日本初の公立教育ファームです。

2014年6月28日(土) 開園!!

アグリパーク施設MAP



○研修対象者

都市農村交流・食農教育等くらしの活動に取り組んでいるまたは今後取り組む予定のJ A・中央会・連合会の役職員

○定員 25名

○研修費用(消費税込)

Aコース(基礎研修+交流会+宿泊)

・都市農村協会員 お一人様 17,500円

・都市農村協会員外 お一人様 22,500円

Bコース(基礎研修会+交流会)

・都市農村協会員 お一人様 10,000円

・都市農村協会員外 お一人様 15,000円

※詳細は、本協議会ホームページでご確認いただけます。

検索都市農村交流全国協議会



レストラン

地元の食材を使用したメニューを提供する農家レストランです。

[詳細](#)



直売所

安全で美味しい、地元の農作物や加工品を販売します。数量限定、期間限定等、特別の商品に出会えるかもしれません。

[詳細](#)



クラブハウス

農業に関する情報提供や各種体験講座・研修を実施する、アグリパークの中心施設です。

[詳細](#)



体験ハウス

羽簾での炊飯やピザ窯でのピザ作り等の体験ができる施設です。

[詳細](#)



体験ほ場

季節ごとに、様々な農作物の栽培、収穫体験をすることができます。

[詳細](#)



体験畜舎

牛やヤブ、ヒツジを飼育しています。搾乳体験やふれあい体験などを行います。

[詳細](#)



食品加工支援センター

農家の方々へ加工技術や商品化の指導を行い、6次産業化への取り組みを支援する施設です。

[詳細](#)



宿泊施設

農業体験や研修の際の宿泊施設です。一般の方の宿泊も可能です。

[詳細](#)

《支援隊レポート》

JAグループ支援隊

(情報提供：農協観光 工藤篤志さん)
**平成26年度JAグループ支援隊
活動中**

JAグループ役職員を中心としたボランティア活動を宮城・岩手・福島各県にて行なっています。これまで大きな事故も無く、復旧・復興へ向けての汗を流してのお手伝いはもちろん、協同作業を通して地域の生産者と全国からの参加者の交流も深まっています。

支援内容が援農作業中心になってきており、支援の意義と作業方法の理解が参加者にもより一層求められてきています。今年度は5月から10月まで、合計約390名が参加予定です。



6月9日・10日の2日間、静岡県のJAグループ役職員が宮城県気仙沼市階上地区で支援活動を行った様子

《お知らせ》



グリーン・ツーリズム 「JOINTly GREEN」の活用について

グリーン・ツーリズム 地域資源を 活用したプラン造成研修会開催

農協観光では農水省の公募事業の一環で、グリーン・ツーリズムに取り組む方を対象とした研修会を9月に東京・大阪・福岡で開催します。

「都市部から気軽に農業体験や地元食材を味わいにきてほしいけれど、どうすれば良いか分からない」そうした声に応えられるように、地域の魅力を活用したグリーン・ツーリズムプラン（主に日帰り）の造成に必要なプロセスを学び、実施にプランを造成して頂きます。

東京会場：9月 2日（火）締切りました

大阪会場：9月 9日（火）

福岡会場：9月11日（木）

※定員になり次第締め切らせていただきますのでご確認ください。

詳しくは専用HPをご覧ください。

<http://ntour.jp/green/>

協議会の活動支援WEBサイト 『JOINTly GREEN』の活用

この会報誌の毎号でご紹介し、基礎研修会Ⅱでもご説明しておりますが、活用がまだまだのようです。

再度、ご活用についてご案内をさせていただきます。

都市と農村の交流をはじめ、様々な交流がありますが、不特定多数の地域内外の住民の方々の参加を募る企画も多数あると思います。例えば、JAまつりや農業体験、料理教室、さらには直売所イベント、観光農園など情報の拡散による集客強化は重要な要素と言えます。

このたび、集客対策の新たな手法としてWEBサイト「JOINTly GREEN」(ジョイントリーグリーン)をご紹介させていただきます。

<http://green.jointly.hyakuren.org/>
無料で手軽に利用できるシステム

当サイトは、イベント主催者がいつでも手軽にイベント情報をWEBサイトへ登録し掲載できるシステムです。ネットで情報を得る次世代への情報発信としても有効な手段が、無料でご利用いただけます。

業務軽減にもお役立ち

また、有料サービスとなりますが、「受付代行」の機能があります。この機能は、掲載したイベント情報のページから参加受付を出来るものです。WEBでの受付業務のイベント主催者のメリットとしては、従来電話での受付と比較をすると、1) 電話対応時間の軽減 2) 予約受付可能人員設定がシステム管理のため、予約超過の防止 3) 受付データが電子データ管理のため、名簿作成の業務が軽減 など業務

効率化・軽減につながります。

本協議会会員特典

当システムの活用にあたっては、本協議会の会員特典として、システムへの情報登録を事務局で代行いたします。

掲載したい情報のチラシや要望などもメールやFAXで事務局宛に送っていただければ結構です。

どしどし情報をお寄せください。



JA 交流事業 ネット掲載料 無料! ネット配信による広範囲集客システム
食と農の交流サイトが都市と農村を繋げる

【ジョイントリー】
**JOINTly
GREEN**

募集イベントの集客増!
新規のお客様の集客! 受付業務の効率化!
イベント情報発信サービス



JOINTly GREEN 新規会員登録 ログイン

それは、自然・文化と共に暮らすサイト

イベントを探す イベントを作る イベント主催者へ

県外に出るイベント 20件

JAグループ	イベント名	開催期間	受付状況
JAグループ	2014年9月15日(月)～2015年1月20日(火)	2014年9月15日(月)～2015年1月20日(火)	受付状況: 已済受付中
JAグループ	2014年9月15日(月)～2015年1月20日(火)	2014年9月15日(月)～2015年1月20日(火)	受付状況: 已済受付中
JAグループ	2014年9月20日(土)	2014年9月20日(土)	受付状況: 已済受付中
JAグループ	2014年9月20日(土)～2014年10月13日(月)	2014年9月20日(土)～2014年10月13日(月)	受付状況: 已済受付中

J A都市農村交流全国協議会 事務局 (J A全中 暮らしの活動推進課)

HP : <http://ja-koryu.com/> TEL03 (6665) 6240 (代)

担当：石岡・石井

*掲載内容に関するご意見・ご質問など、お気軽にお問い合わせ下さい。